

地域活動支援事業を活用した事例を紹介します

雁金城跡及びその周辺の史跡の 保存、整備とPR併せ会員の 知識の向上事業

雁金城跡保存会

幹事 峯村 正文

「雁金城跡保存会」は、昨年十周年を迎え、安塚区の「直峰城跡」を見学し、山城の研修会を行いました。

七月六日(土)は、冬囲いの撤去に草刈り作業、暴風で倒れた樹木の伐採を行い、狼煙台の現場を整理しました。次は、いよいよ階段の整備に入ります。女性二人も含め二十三人が参加し、高齢者の方は資材の準備作業、あとは、本格的に杭打ち作業の敢行です。

八月四日(日)午前八時三十分集合。事前に新保会員から作業の段取りをアドバイスして頂き、必要な用具(鉄製ハンマー、レンチ、剪定用具、ジョレン、ビビラ、ハサミ)の伝達をしておきました。杭打ちは、急坂な場所のため、最もハードな作業で事前の準備と慣れが必要です。資材の準備から杭打ち、安全ロープ等手慣れた手順で黙々と作業を行いました。

幸い狼煙台から下がった作業現場は樹木に覆われて日陰になっているものの暑い事には変わりありません。打ち込みとナットの締めを確認しながらケガや事故もなく無事に作業が完了。今年も頑張ります！



雁金城跡登山道階段整備 (8月4日)

坂口記念館を拠点とした 「くびきの地力(ちぢから)」 活性化推進事業(継続事業)

特定非営利活動法人

くびき来夢ネット

理事 笠原 昇治

地域活動支援事業のチカラを頂いてくびき来夢ネットでは、坂口記念館の来館者増のため、様々なイベントを実施しています。

坂口記念館の雪椿園には、坂口謹一郎博士が頸城の地域振興の一助のため収集した雪椿が約百種類、約百九十本植えられています。

楽縫庵に珍しい「黒椿」があり、ぜひ椿の手入れの仕方や剪定、挿し木などの方法を教えてほしいという市民の声があり、講習会を開催しました。

また、「雪椿と言えは坂口記念館」の名を広めてほしいとの声もあり、六月一日と七月二十三日プロの講師を招いて、椿の講習会を実施しました。

受講者は、真剣に講義を受け、剪定の実技では、残す芽、将来の樹形バランス、空間の取り方等を学び、最後に黒椿の挿し木の仕方を実践して終了しました。

椿は市の花であることから、毎年四月に坂口記念館で「坂口謹一郎博士と酒と椿の祭典」を開催し、県内外から多くのお客様が訪れています。今後も様々なイベントの開催により、坂口博士の顕彰、坂口記念館及び雪椿について幅広く情報発信していきます。



雪椿の剪定 (7月23日)

頸城区地域活動支援事業 採択結果一覧 (受付順)

単位：万円

事業名	団体名	事業内容	補助金額
中部農道等景観整備事業	くびき 花の会	頸城区の主要道路である中部農道のけやき並木(旧アヤメロード)の花壇等を共同活動で整備し、景観形成に寄与するとともに良好な地域社会の維持を図る。	46.9
雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業	雁金城跡保存会	雁金城跡及び周辺の史跡を整備保存するため、杭の補修と不動尊の安全対策を実施する。また、謙信公祭の狼煙上げ、大池祭りに参画し地域振興に貢献する。	82.4
いきいき人生(爺婆)笑って元気事業	公民館 明治分館協議会	明治地区の高齢者を対象に身体の活動や脳の活動など多種類の活動の場を提供することで、地域の「健康寿命」を延ばす。	16.8
くびき野レールパーク公開及び排水工事業	NPO法人くびきのお宝のこす会	レールパークの排水工事により車庫内への浸水を防止することで施設・設備を適切に管理するとともに、これらを公開することで地域振興を図る。	56.0
「くびき昔々物語 大池・小池の話」紙芝居製作による伝承・普及事業	読み聞かせサークル ワンダーランド	頸城区の大池に伝わる伝説を後世に伝えるため、伝説の紙芝居を作成し、保育園や小学校に配布する。	72.0
頸城区民のための文化振興事業	くびき文化協会	文化芸術活動による頸城区民の「心の豊かさ」を育むため、「瑞宝太鼓」の公演を実施する。	149.6
白田邸環境整備等事業	白田邸保存会	国登録有形文化財白田邸の庭園整備を行い、一般公開のほかガイドの育成、認知度向上のためのイベントを実施することで頸城区の観光振興に寄与する。	80.0
頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業	頸城中学校後援会	頸城中学校の吹奏楽部に楽器の支援を行い、子どもの健全育成を図るとともに、頸城の祭典などでその成果を披露する。	88.0
坂口記念館を拠点とした「くびきの地力(ちちから)」活性化推進事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	坂口記念館の来場者増加のため、ガーデニング、そば打ち、写真等各種講座の開催などを行う。	43.7
冬期区民スポーツ大会開催事業	頸城体育協会	冬期間にインドアスポーツ大会を開催することにより、冬期の運動不足解消・健康増進と地域間・世代間交流を図る。	15.0
健康増進普及事業(バスハイク&トレッキング)	NPO法人ユートピア くびきスポーツクラブ	家族で参加するウォーキングを開催し、心身の健康増進及び世代間交流を図る。	14.0
地域住民の健康づくりと高齢者の健康増進対策事業	NPO法人ユートピア くびきスポーツクラブ	運動習慣の定着のため、体質改善を目的とした医療機関との連携によるトレーニング教室を行うとともに、高齢者には高齢者を元気にする出張教室を開催する。	34.5
頸城区の小学生行事支援事業	頸城地区公民館 南川分館協議会	小学生用のゲームベストを購入することで、スポーツ行事におけるチームや区分を明確にすることで団結力の向上を図るとともに、写真映えの向上等による父兄の参加率向上を図る。	11.1
合 計			710.0

**地域活動支援事業の審査を
振り返って**

◆早めの自立を◆

今年度の頸城区地域活動支援事業が前ページ「採択結果一覧」のような内容になりました。概ね順当な結果と思われれます。ただし従来から言われていることですが、物品の購入や業者への作業依存度の高いものが見受けられ若干懸念するところがあります。

また、誤解を恐れずに申し上げれば毎年、同じ団体から同様の提案がなされている気配があるのは如何なものでしょうか。我々委員の役割としましては、ヨチヨチ歩きの雛鳥が、大空へ飛び立てるよう細やかではあります、後ろから微風をおくる程度のことかと考えます。

早めに自立され、頸城区全体の地域活性化に大いに貢献される様な組織・団体が一つでも二つでも出現していただきたいものです。
(Y・S委員)

◆次年度事業提案に向けて◆

元号が令和に変わり、最初となる地域活動支援事業が決定しました。

頸城区の特徴としては、有形文化財や文化遺産の維持継承活動と社会教育・生涯スポーツ活動が盛んでありま

す。今回採択された事業もそうした団体が主に活用しています。

事業提案される団体がマンネリ化しつつありますが、新たな団体からの提案も少なからずあります。

区内の団体であればエントリー可能ですので、次年度に向けて今から企画してみたいかがでしょうか。若者発信の活動、地域資源を活用したイベントなど、頸城区を元気にする提案に期待したいところです。
(A・T委員)



地域活動支援事業プレゼンテーション
(5月22日開催)

「地域を元気にするために必要な
提案事業」経過報告

平成三十一年三月発行の地域協議会だよりでお知らせしました「地域を元気にするために必要な提案事業」の採択を受け、幅広い見地から協議を進めるために四月二十日、地域協議会を含め関係八団体十八名の委員で構成された「大池・小池を元気にする会」が設立され、大池・小池を元気にするための協議を重ねてまいりました。

観桜会・観光名所めぐり・写生大会・茶会・子供会活動・キノコ採りなど関連施設を利用する多彩な事業企画が提案されましたが、これらの受け皿となるべき事業主体の提案がまだありません。今後もより良い提案を導き出せるよう協議を重ねてまいります。

今まで当たり前に活用していたビジターセンター、自然学習実践センターや大池・小池は、子供たちの学びの場であり、区民の憩いの場であり、故郷を離れた方々の心の故郷です。地域が一つになり知恵を出し合い、協力しながら、この素晴らしい環境を未来に残していきたいでしょう。
(H・N委員)



大池いこいの森第3キャンプ場 (5月)

地域協議会のうごき

<協議会開催の経過>

■ 4月23日（火） 第1回地域協議会

- ・平成31年度頸城区地域活動支援事業の応募状況について、総合事務所から説明を受け、内容を確認するとともに、今後の審査の進め方について協議しました。
- ・地域を元気にするために必要な提案事業の経過について、総合事務所から報告を受けました。
- ・平成31年度の総合事務所の体制について、総合事務所から説明を受けました。

■ 5月22日（水） 第2回地域協議会

- ・令和元年度頸城区地域活動支援事業について、事業を提案した団体のプレゼンテーションが行われました。
- ・プレゼンテーション終了後、それぞれの提案内容について、基本審査を行うとともに採択方針に適合するか確認しました。
- ・地域を元気にするために必要な提案事業の経過について、総合事務所から報告を受けました。

■ 6月14日（金） 第3回地域協議会

- ・令和元年度頸城区地域活動支援事業について、採択の可否について決定しました。
- ・地域を元気にするために必要な提案事業の経過について、総合事務所から報告を受けました。

■ 7月12日（金） 第4回地域協議会

- ・新潟太陽誘電(株)第二工場4号棟建設工事の現況と工事に伴う交通規制について、(株)大林組から説明を受けました。
- ・総合事務所の時間外受付の見直し(案)について、自治・地域振興課から説明を受けました。
- ・地域活動支援事業の追加応募状況について、総合事務所から説明を受けました。

■ 7月30日（火） 第5回地域協議会

- ・令和元年度頸城区地域活動支援事業（追加募集分）について、事業を提案した団体のプレゼンテーションが行われました。
- ・プレゼンテーション終了後、提案内容について、基本審査を行うとともに採択方針に適合するか確認し、採択の可否について決定しました。

■ 8月29日（木） 第6回地域協議会

- ・令和2年度頸城区地域活動支援事業の採択方針等について、協議しました。

編集後記

上越高校の生徒が、全国高等学校総合文化祭の弁論部門で、最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞したとの報道がありました。「まちづくりの第一歩」と題し、上越妙高駅を「核」として企画・運営した「ゆかた祭り」を振り返り、『ゼロに小さなイチを足して行く。これがまちづくりの第一歩』との思いを発表したとの事です。

地域協議会では、区民の皆様の要望の多かった「大池・小池の観光資源としての利活用」を、地域を元気にするために必要な提案事業として市に提出しました。

詳細は3ページに譲るとして、大池・小池の「核」が必要です。ビクターセンターしかり、ビオトープしかりです。今後の展開に、多くの区民の皆様の賛同・支援を頂かなくてはなりません。高校生の言う『小さなイチ』の積み重ねがポイントと思います。

(関川)

